

平成 26 年 2 月 1 日

## 「年度幹事の充実」と「同窓会名簿の整備」について

津高東京同窓会事務局

東京同窓会は、関東地区（東京及び周辺）在住の会員が主役ですが、卒業年次ごとのまとまり（同期会）の集合体でもあります。

そういうことから、年次ごとに「年度幹事」を選んでいただき、役員会のメンバーになっていただいています。

役員会は、役員（会長、副会長、特別顧問、会計監査等）と各年次の年度幹事、そして事務局メンバーで構成、運営され、最大の行事である「総会」の企画・開催を中心として、同窓会の運営に関する主要な事項を幅広く民主的に審議しています。

したがって、本来、すべての年次から幹事が選ばれ積極的に参加していただくことが望ましいと言えます。

しかし、現状は望ましい姿からはほど遠く、名簿上、空白（年度幹事が不在）の年次が 16 ほどあります（S50、S59、S61、S62、H2、H4～H8、H10～H12、H14、H16、H19）。

さらに、近年の出席状況を見ると、事実上「空白」と変わらない年次が、それと同数程度あると思われます。

つまり、全体のおよそ半分の年次が運営に参加していないのが実態なのです。

もちろん、総会には幅広い年次から出席されていますが、総数約 3,700 名に対して出席者 200 名前後では、出席率が 1 割にも満たないことになり、その年の正副輪番幹事の年次からの出席者がかなりの割合を占めているのが実態です。もっと幅広い年次からたくさんの会員が集う、活気ある交流の場にしていきたいではありませんか。

津高東京同窓会を活性化し、健全な姿で運営し、発展させていくため、事務局から、以下の点を、年度幹事及び会員諸氏にお願いしたいと思います。

(1) すべての年次について年度幹事を選んでください（自薦他薦問わず。できれば複数名が望ましい）。

(2) 年次ごとに同期生の消息（連絡先等）の把握に努め、学年名簿を整備してください（現在、事務局で管理している名簿の当該年次分を、年度幹事にご提供します）。それらを事務局に提供していただき、充実した東京同窓会名簿を作りたいと思います。

(3) 同級生の消息把握、名簿の整備と併せて、同級生に総会への出席を呼び掛けてください。なお、同期会を（同日に、あるいは別の季節に）開催することも相乗効果をもたらすと考えられます。

まず、本日の役員会出席の皆さんを含め、現在の年度幹事にこの3つのお願い事項に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

加えて、空白の年次、出席・活動が極めて低調な年次における年度幹事の充実のため、他の年次の方々にも、親子兄弟、クラブ等の先輩後輩、地元の友人・知人など、様々なつながりを駆使して発掘・勧誘を行っていただきたいと思います。例えば、同窓会名簿「ああ母校」を眺めてみて、知っている人を見つけるところから手をつけていただければどうでしょうか。

年次の重複や空白の未解消については事務局で調整・補完しますので、現在の年度幹事の皆さんは、1人ひとりがそれぞれの持つつながりで、新たに年度幹事をお願いできそうな候補者を見つけてください（目安として各自3名以上）。その上で、直接依頼していただくか、事務局に紹介していただくか、どちらかの方法でお願いいたします。

その具体的な方法、内容、スケジュール等は、本日（2月1日）の役員会での議論を参考に事務局で決めた上で、すべての年度幹事に対して、速やかに協力の呼び掛けを行います。

この課題は、継続的に取り組んでいくべきものですが、まずは、「平成26年5月の総会の充実」を当面の目標としたいと思います。

開催案内状の発送時期（3月下旬の見込み）を考えると、取り組める期間は2月、3月の2ヶ月間です。

年度幹事の充実を図り、同窓会名簿の整備を進めることを通じて、総会の成功と東京同窓会の発展を実現していこうではありませんか。

皆さまの御理解とご協力をお願いいたします。